

校長ニューズレター（第8号・11月号） 宜野湾市立長田小学校校長：横山芳春



### 自然教室に行ってきました

11月10日から12日にかけて、5年生と「石川少年の家」に行ってきました。「自然教室」です。今回はその報告です。

初日の圧巻は、「山登り（石川岳）」でした。石川岳は、標高100メートルちょっとの山ですが、歩行コースは起伏に富んだものでした。天気は、雨が降ったり、晴間が見えたり、曇ったりの、まさに山の天気そのものでした。

植物に包まれて歩く爽快さを感じました。最も美しいと思った景色は、小さな谷間で見た羊歯の群落。斜面に多数の羊歯が密生しており、下から見上げる格好であった。その羊歯の群落は、銀白色に輝いていた。小雨が降っていた。



（羊歯の群落と子どもたち）

すぐに思い出したのが、ニュージーランドのシルバー・ファーン（銀の羊歯）。この銀白色の葉は、神秘的でマリオ人（ニュージーランドの先住民）の信仰の対象とされている。ラグビーファンならすぐ分かるオールブラックスのユニフォーム・ロゴがシルバー・ファーンです。

音もよかった。沢の水の音。鳥の鳴き声。ナイトウオークで聴いた虫の声。

山歩きは、子どもたちのグループ単位でおこなわれた。私は、シンガリを務めた。ひとりの児童がばててしまった。同じグループの子どもたちは、終始ともだち想いで、励ま

し続けていた。優しい言葉、激励、手をさしのべ、最後まで諦めさせない。なんとやさしく辛抱強い子どもたちであろうか。励まされた子は、りっぱに完歩できました！

2日目は、マキを使ってカレー作りとテントの設営。ご飯もうまく炊け、カレーもおいしくできた。テントも少年の家のスタッフの説明を良く聴いて、なんなく完成。

さて自然教室の目的は、「自然を愛する豊かな心情を育てること」、「協力する精神や社会性を培う」こと。

現代は、環境の時代。自然教室も、環境を意識したものになるはず。保護者のみなさんをお願いしたことは、初日のお弁当で、できるかぎりごみの出ないもの。自然を愛する心を育てる行事で、ごみを大量に出してはいけません。使い捨ての時代はもうとっくに終わったのではないのでしょうか。みなさんの協力で、お弁当ガラやペットごみが非常に少なくなりました。ごみが少ないことはとても気持ちがいいものです。これからは遠足も、水筒持参で、使い捨て弁当など止めたいものです。

子どもたちは、自然との交わりで感性を育て、友との友情も育てたと思います。友とともに自然を満喫した“教室”だったと思います。



（先生たちもごみのでない弁当箱で）

※ボランティア参加の保護者の方々、ありがとうございました。